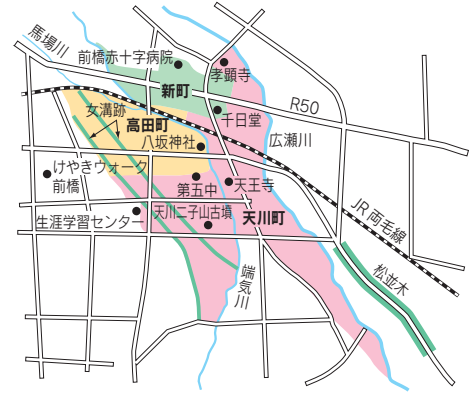


# 天川町・新町・高田町

Amagawa-machi & Shin-machi & Takada-machi



天川二子山古墳（国指定史跡）  
この近辺には150基以上の古墳があった



**おじいちゃん**…今日は天川町、新町、高田町に行ってみよう。

**ボ** ク…なんて読むの？

**おじいちゃん**…「あまがわまち・しんまち・たかだまち」と呼ぶんだよ。

**おじいちゃん**…ク…いつからそういう町名になったの？

で、後に3つに分かれたんだよ。江戸期から明治22年までは天川村と呼ばれ、明治22年からは前橋町、明治25年からは前橋市の天川という大字名となり明治43年から天川町となったんだよ。新町は江戸期に前橋城下の町人町として天川新町となり、明治9年から昭和41年にかけて新町という町名だったんだよ。高田町は旧町名のなかでは新しい地名で、昭和7年にできたんだよ。

**ボ** ク…とっても昔からの歴史ある町名だったんだね。どうしてそういう町名になったの？

**おじいちゃん**…天川の名前はかつてこの地を流れていた



千日堂前に残る道標  
かつてはここが丁字路であった

利根川を「天の川」になぞらえて、その兩岸の集落を呼んだんだよ。新町は天川村の中に城下町を造るときに新しい町割をした際にでき、高田町は天川町のうち

字高台と字矢田町、新町の一部が合わさってでき、高台と矢田町の一字を組合せて高田町と名づけられたんだよ。

**ボ** ク…このまちはどこになるのかなあ。

**おじいちゃん**…天川町は西側が生涯学習センター近辺、東側が広瀬川までの界限だね。新町は前橋赤十字病院周辺の界限、高田町は天川小学校近辺から両毛線の沿線を挟んだ界限だね。

**ボ** ク…当時の様子や神社仏閣を見てみたいよ。

**おじいちゃん**…天川町に八坂神社があり、境内に昭和46年「天川地名愛惜之碑」が建てられ、「この地は、もと天川と称し前橋発祥の地として、千数百年をこえる古墳時代より古代文化の一中心をなした由緒深いところである」と碑面にあるよ。碑面のとおり7世紀前半に築かれた天川二子山古墳が



天川町の八坂神社



昭和46年、八坂神社に建立された「天川地名愛惜之碑」



孝顕寺境内にある「蚕霊供養塔」

あつて、古墳の北西に女溝の遺構があり、古地図では高田町から古墳に辺りにかけて細長く2本の溝の跡がわかるよ。また、天王寺というお寺の向側に江戸時代の相撲取りである佐渡ヶ獄沢右衛門、「強山道力居士」という墓石があり、前橋城主は喜んで屋敷を与え、これが佐渡屋敷なんだね。お寺といえは日本三孝顕寺（結城市・福井市・前橋市）の一つである孝顕寺があつて境内には蚕霊供養塔があるね。

**ボ** ク…次に当時の新町の様子を見てみたいよ。

**おじいちゃん**…新町に「百番供養塔」があるよ。国道50

号線の朝日町東交差点を南下したところにある小さな十字路に千日堂があり、「右江戸 左日光」と記されているよ。昔ここが丁字路で天川町の本通りだったんだ。南に向かう道はかつて江戸道と呼ばれ、もう一本の東に向かう道は野中方面

へ通じていたんだよ。前橋城主の江戸への往復に使われるなど往来する人にとつて大事な道標だったんだね。新町通りとも呼ばれたこの道は戦前の耕地整理と戦後の区画整理によつて現在の広い道となったんだよ。

このまちで忘れてならない人で江原芳平氏がいたよ。生糸商として横浜貿易で財をなし、明治12年生糸改良のためこのまちに製糸会社天原社を創設、また前橋で初めての新町信用組合をつくつたんだよ。それから、大正2年に開院した前橋赤十字病院があるね。

**ボ** ク…最後に当時の高田町の様子を見てみたいよ。

**おじいちゃん**…「前橋新風土記」には、「矢田から天川の松並木まで三百近くの軽輩士族が並んでいただけあつて、僅かな商店と農家の他はほとんど住宅居住者」と記されているよ。昔の人たちは、この辺りを高台と呼んでいたんだよ。このまちにも五つの古墳が記録されているよ。天川二子山古墳より小型の不二山古墳、円墳3基などがあるよ。古代には立派な豪族がこの付近

にいて、高い文化を誇っていたようだね。

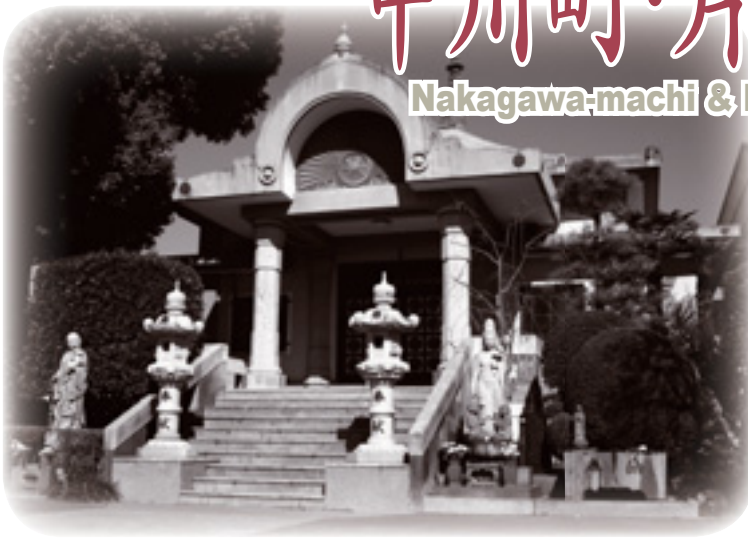
**ボ** ク…この3町は古代や江戸期の前橋にとつて重要な地域だったんだね。多くの歴史を物語る古墳や石碑が今でも残っているのはすごいことだし、これからも大切に保存していきたいね。

**おじいちゃん**…そうだね。では、次回は中川町・片貝町・天川原町に行つてみよう。

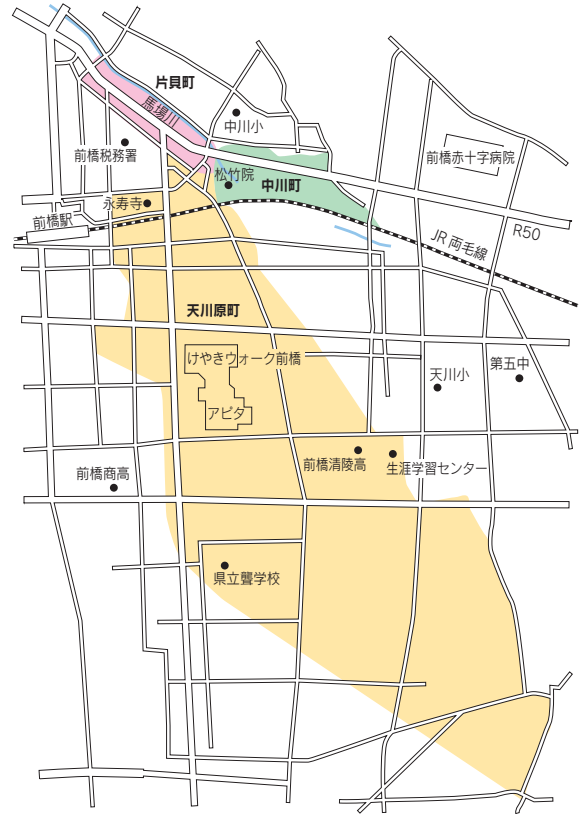


# 中川町・片貝町・天川原町

Nakagawa-machi & Katakai-machi & Amagawahara-machi



前橋城の高浜曲輪から移された松竹院



**ボ** おじいちゃん.. 中川町はまちを横断する江戸道沿いのまちで、通路の中央に水路があったからそう呼ばれたようだよ。片貝町はまちの北側の馬

**ク** ..各まちとも歴史のある町名だったんだね。どうしてそういう町名になったの？

**ボ** おじいちゃん..「なかがわまち・かたかいまち・あまがわはらまち」と呼ぶんだよ。  
**ク** ..いつからそういう町名になったの？  
**ボ** おじいちゃん.. 中川町と片貝町は江戸期から昭和41年までの町名で、江戸期は前橋城下町人町の1町で、明治22年に前橋町、明治25年に前橋市の町名となった。天川原町は近世では江戸期から明治22年にかけて天川原村、近代では明治22年から昭和26年まで天川原という大字名、特に明治22年に前橋町の大字名、明治25年に前橋市の大字名となり、続いて昭和26年から現在にかけて天川原町となっている。

**ボ** おじいちゃん.. 今日では中川町、片貝町、天川原町に行ってみよう。

**ボ**

**ク** ..次に当時の片貝町の様子や神社仏閣を見て

よ。  
**ボ** ..次は当時の中川町の様子や神社仏閣を見て

よ。  
**ボ** ..次に当時の天川原町の様子や神社仏閣を見て

**ボ**

**ク** ..当時の中川町の様子や神社仏閣を見て

よ。  
**ボ** ..次に当時の片貝町の様子や神社仏閣を見て

**ボ**

**ク** ..次に当時の天川原町の様子や神社仏閣を見て

よ。  
**ボ** ..次に当時の中川町の様子や神社仏閣を見て



昭和4年当時の中川小学校正門



朝日薬師。周囲の芋は見られなくなったものの  
当時の面影を残す風情はそのまま

みたいよ。

おじいちゃん…現在の国道50号線は昔、伊勢崎街道と呼ば

れていて、まちの真中を通り、賑やかであったというよ。この道は前橋城への東入口として重要な役目をもった道で、たいへん、くねくねと曲がった道だったよ。それと、これという道の名残で、城まで見通せないように曲がりくねっていたんだね。戦後、区画整理をする際は大変だったよ。城といえば、幕末に前橋城が再築されたが、この時、本殿を造った大工の棟梁の倉吉はこのまちの人とされているよ。また中川小学校は先日訪れた中川町に寺子屋として仮校舎があったが、最初に建てられた本校舎は片貝町32番地にあつたよ。さらにこのまちに朝日薬師、別名芋ッ葉薬師があるよ。天保の頃、在の人が赤城に柴刈りに行くとき、馬に乗ってここを通ると朝日に照らされてピカッと光ることから朝日薬師と言われるようになったり、4月と9月の8日が例祭で、その日は決まって雨が降ったもので、参詣者は近所の畑にある芋ッ葉を傘がわりにして帰ったことから芋ッ葉薬師と言われるようになったというよ。このまちの出身に市村良平という人がいて文久年間に生糸商を開業し、前橋でも屈指の商人となり、明治19年には市村社という製糸工場を創立したというよ。

ボ

ク

おじいちゃん…文政4年の「上野国群馬郡天川原分間絵図」

には、「天川原村内、片貝町・十八郷町・榎町・萱屋町・紺屋町・鍛冶町・白銀町・本町」とあり、他の古文書にも、この8カ町が天川原村のうちに記されているんだよ。このことから「前橋市史」は前橋の城下町を形成する際、天川原が何らかのかかわりをもっていたと指摘している。また、現在本町にある八幡様は、古くはこの村内に祀られて

いたと伝えられ、移転後は八幡様の大鳥居

の注連縄は、天川原から寄進される習わしがあるよ。現在は八幡神社があり、御祭神が鬼子母神であることから安産子育ての守り神として、また、産土神として信仰を集めているよ。他に松竹院があり、高浜山松竹院梅林寺と号し、山号からもわかるとおり前橋城の高浜曲輪にあつたものを、このまちに移されたんだよ。田中町に接している永寿寺は松平大和守が姫路在城の時、僧日教を開祖とした日蓮宗の寺で、慶応3年川越からこのまちに移されたんだよ。墓地には五代目嵐寛十郎の墓があるよ。このまちの中には前橋けやきウォークがあるが、以前は中島飛行機前橋工場が誘致され、終戦後連合軍に接収されキャンプとなり、昭和35年ダイハツ前橋製作所が誘致されたんだよ。

ボ

ク

今は変わってしまったけど、昔はのどかな風景があつたり、江戸期の前橋にとって重要な地域だったんだね。そして歴史のある神社仏閣がひっそりと残されていて、うれしく思うよ。それにしても今まで旅してきたまちの一部が何らかのかかわりをもっていたことを考えると大切な地域なんだと思うよ。

おじいちゃん

…そうだね。それでは今回で旧町名の旅は終わりにしたよ。

ボ

ク

寂しい思いだけど、おじいちゃん、長い間ありがとう。今までボクたちの住まえばしのまちを訪れ、町名の由来や歴史が理解できたし、楽しかったよ。そして、忘れつつある昔の町名を次世代に受け継いでいくよ。また機会があつたら、他のまちを旅してくれる?

おじいちゃん

…長い間付き合ってくれてありがとう。また機会があつたら旅をしよう。

ボ

ク

…楽しみにしているよ。